

## 認定外科医 Q&A

1. 提出する論文につきまして、英文医学雑誌に査読の結果受理されたのですが、申請時に出版されていない論文につきましては、受理された論文と受理の通知を添付することで、小児がん認定外科医の認定のための論文としてカウントできますか？

A. 施行細則第7条に記述されているように「掲載された論文」としております。申請年3月31日までに発刊・発行済みのもの（online journal を含む）に限ります。ただし E - pub aheadとして公表されているものは正式な発表なので認められます。accepted については不可です。

2. 以下の資格（外科専門医、小児外科専門医、がん治療認定医）の認定期間の期限が切れます。現在更新申請中ですが、小児がん認定外科医の申請は可能ですか？

A. それぞれの資格の更新中であれば申請可能です。ただし更新終了後に新しい認定証のコピーをお送りいただいた段階で小児がん認定外科医に認定します。この場合、当該年度の4月に遡って認定いたします。

3. がん治療認定医に新規に認定される見込みです。申請は可能ですか？

A. はい、がん治療認定医に認定の見込みであれば申請可能です。ただし認定後に認定証のコピーをお送りいただいた段階で小児がん認定外科医に認定します。この場合、当該年度の4月に遡って認定いたします。申請時にがん治療認定医の番号が未定の場合は、9999 と入力してください。なお、がん治療認定医に何らかの理由で認定されなかった場合には、小児がん認定外科医の認定も認められません。

4. これまでの異動が多かったため、履歴書の職歴の欄が足りません。

A. 外科医としての経歴を記していただくことが目的です。短期間勤務しただけの職歴は割愛していただいて構いません。なお、臨床経験記録に記載した症例を経験した施設の職歴は必ず記入して下さい。

5. 学術業績の小児がんに関する学会発表とは基礎研究も含まれますか？

A. はい、小児血液・腫瘍学に関連したものであれば基礎研究に関しても含まれます。

6. 学術業績の小児がんに関する論文は、peer review がある雑誌に限りますか？

A. いいえ。小児がん認定外科医の新規申請や更新では、商業誌の総説などの依頼原稿も対象となります。小児がんに関する論文であるかどうか、個々の審査は専門医制度委員会が判定します。該当するかどうか迷う論文が含まれていたら、念のため予備の 4 件目、5 件目を記載されることをお勧めします。

7. 臨床経験記録に記載できるのは最近の 5 年間の症例に限りますか？

A. いいえ。過去に経験した手術症例すべて記載可能です。

8. 臨床経験記録に記載できるのは、小児血液・がん学会研修施設での手術に限りますか？

A. いいえ。どの施設でも、小児がんに関する全身麻酔下手術であれば対象となります。ただし、症例の確認を行うことがありますので、施設指導医名を明記してください。

9. 臨床経験記録の良性腫瘍摘出術とは、小さな皮下腫瘍摘出も含まれますか？

A. 良性腫瘍摘出術の中で、悪性腫瘍摘出術に準ずる手術のみが対象です。個々の手術が該当するかどうかは専門医制度委員会で判断します。該当するかどうか迷う症例が含まれている場合は、念のため予備の 21 から 25 件まで記入されることをお勧めします。

10. 臨床経験記録で「学会疾患登録 ID または施設内 ID」とありますが、施設内 ID とは何を指しますか。

A. 第三者が症例を特定できる番号という意味で、「学会疾患登録 ID または施設内 ID」と規定しています。施設内 ID とは、カルテ番号を想定しています。もし、「学会疾患登録 ID または施設内 ID」を記載することが難しく、それ以外の番号で症例を特定できる番号があるなら、その番号でも結構です。